

普及活動情勢報告（令和2年7月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

農業×福祉	・・・ニラの出荷調製作業体験講習会・・・
	6月24、25日に四万十農園あぐりっこ研修センターで、ニラの出荷調製作業に就労のための講習会を開催し、11福祉事業所から35名の参加がありました。講習会では、職員と利用者にそぐり・計量・結束を体験してもらい、就労が可能かどうか判断してもらいました。また、作業時間の測定も行いました。作業自体には問題はないが、集出荷場での就労には、作業環境や職員の配置などに課題があることが分かりました。 今後は、10月からの就労に向けて、9月頃に再度講習会を開催する予定です。

夏期剪定と縮間伐低樹高化の実技講習会	・・・第1回女性農業者勉強会・・・
	6月25日に宿毛市宇須々木の土佐文旦ほ場で、第1回女性農業者勉強会を開催し、4名が参加しました。今回は夏季剪定の実技と縮間伐低樹高化について講習しました。 外観と食味品質の向上に夏季剪定が重要な作業であることを剪定を行いながら説明し、高樹と低樹での授粉作業時間の調査結果についても報告しました。 低樹高化は省力化と作業者の安全を確保でき、雇用労賃の削減につながることを説明しました。 参加者の学習意欲は高く、毎月開催の要望が出されており、振興センターは要望に応えるよう取り組んでいきます。

増収を目指して管理を徹底しよう！	・・・オオバ部会現地検討会・目慣らし会・・・
	7月6日、四万十市生産者ほ場と中村集出荷場でオオバの現地検討会及び目慣らし会を開催し、生産者6名が参加しました。 農業改良普及課からは、D-Dを用いたセンチュウ類防除試験の報告とGAPについて説明し、生産者から「湛水処理はセンチュウ類防除に効果があるか」等の質問が出されました。 オオバ部会は、安定出荷に向けた小袋自動包装機の導入を検討しており、農業改良普及課では引き続き病虫害防除や栽培管理について指導していきます。

虫取り網ブンブン

・・・カメムシのすくい取り調査・・・



7月8日に幡多地区の早期稲の16ほ場で水稻の品質低下につながる斑点米カメムシ類の予察調査を行いました。発生予察は県内全域で実施され、主要病害虫について、その分布、繁殖、ならびにこれらに影響を与える気象や作物の生育状況などを調査し、適期に適切な防除を実施するのに必要な情報を広く提供することを目的としています。

今年は、斑点米カメムシ類であるクモヘリカメムシやホソハリカメムシが特に多く発生しており、ほとんどのほ場で捕獲されました。

農業改良普及課では、水稻の品質向上に向けて病害虫の適期防除などの情報提供を行っていきます。

黒砂糖を使った商品づくりに向けて

・・・黒潮町しおかぜ工房・・・



7月8日、黒潮町浮鞭にあるしおかぜ工房の加工場において、グループの3名が6次産業化セミナー実践コースの現地指導を受けました。工房は、黒砂糖を使った新たな加工品の開発を目指しており、農業改良普及課は、実践コースへの応募にあたり、課題や問題点の整理等の支援を行いました。

当日は、(株)キッチンエヌ代表取締役中村新氏をアドバイザーとして招き、グループの活動や既存商品の販売について意見交換した後、今年度は黒砂糖を使ったお菓子の商品開発に取り組むことを確認することができました。

農業改良普及課は、今後も引き続き、6次産業化の取り組みを支援していきます。

法人の経営安定に向けて・・・集落営農法人連絡協議会・・・



7月17日、四万十農園あぐりっこ研修センターで幡多地域集落営農法人連絡協議会を開催し、管内の12法人19名と関係機関24名が参加しました。

農業改良普及課からは、水稻の栽培管理や広域連携、経営計画の立て方など法人の経営安定につながる情報提供を行いました。法人からは、資金積立の質問が上がり、法人間の情報共有にもつながりました。

農業改良普及課は、今後も法人が地域の担い手の中心となるよう、法人運営を支援していきます。